

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成27年8月13日

【四半期会計期間】 第48期第1四半期(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

【会社名】 株式会社オーイズミ

【英訳名】 OIZUMI Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 大 泉 秀 治

【本店の所在の場所】 神奈川県厚木市中町二丁目7番10号

【電話番号】 (046)297-2111(代)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 前 田 信 夫

【最寄りの連絡場所】 神奈川県厚木市中町二丁目7番10号

【電話番号】 (046)297-2111(代)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 前 田 信 夫

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第47期 第1四半期 連結累計期間	第48期 第1四半期 連結累計期間	第47期
	自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日	自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日	自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日
売上高 (千円)	2,687,303	3,451,909	16,125,234
経常利益 (千円)	258,401	246,327	1,562,943
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	201,726	168,823	418,759
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	200,214	163,131	435,119
純資産額 (千円)	14,102,194	14,475,538	14,312,106
総資産額 (千円)	26,188,442	33,225,202	32,667,461
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	8.97	7.50	18.62
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	53.8	43.6	43.8

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
4. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、当第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について重要な変更はありません。

なお、当第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度において非連結子会社でありました株式会社レッド・エンタテインメント及び株式会社インターグローを、重要性が増したため連結の範囲に含めております。

これにより、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。詳細につきましては、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等)」をご参照ください。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 財政状態

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（平成27年3月31日）に比べ557百万円増加し、33,225百万円となりました。

なお、前連結会計年度において非連結子会社でありました株式会社レッド・エンタテインメント及び株式会社インターグローを重要性が増したため連結の範囲に含めております。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ739百万円増加し、16,553百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加（759百万円増）、仕掛品の増加（758百万円増）、その他に含まれる前渡金の増加（98百万円増）の一方で、受取手形及び売掛金の減少（936百万円減）によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ182百万円減少し、16,671百万円となりました。これは主に連結範囲の変更に伴う投資有価証券の減少等（204百万円減）の一方で、連結範囲の変更に伴うのれんの増加（103百万円増）によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ394百万円増加し、18,749百万円となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金の増加（254百万円増）、株式会社レッド・エンタテインメントを連結の範囲に含めたことに伴う流動負債その他に含まれる前受金の増加等（270百万円増）、長期借入金の増加（1,131百万円増）、固定負債その他に含まれる長期預り保証金の増加（157百万円）の一方で、短期借入金の減少（1,123百万円減）、未払法人税等の減少（255百万円減）によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ163百万円増加し、14,475百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加（169百万円増）によるものです。

この結果、自己資本比率は43.6%と前連結会計年度末に比べ0.2ポイント減少しました。

(2) 経営成績

当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高3,451百万円（前年同期比28.5%増）、経常利益246百万円（前年同期比4.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益168百万円（前年同期比16.3%減）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

(機器事業)

機器事業は、当第1四半期は売上高2,857百万円（前年同期比12.1%増）、セグメント利益321百万円（前年同期比12.0%増）となりました。

(不動産事業)

不動産事業は、当第1四半期は売上高150百万円（前年同期比3.8%増）、セグメント利益80百万円（前年同期比9.5%減）となりました。

(福祉介護事業)

福祉介護事業は、当第1四半期は売上高189百万円、セグメント損失37百万円となりました。

なお、福祉介護事業は、前第3四半期連結会計期間より報告セグメントとしております。

(電気事業)

電気事業は、当第1四半期は売上高57百万円、セグメント利益18百万円となりました。

なお、電気事業は、前連結会計年度末より報告セグメントとしております。

(コンテンツ事業)

コンテンツ事業は、売上高299百万円、セグメント利益37百万円となりました。

なお、コンテンツ事業は、連結範囲の変更に伴い当第1四半期連結会計期間より報告セグメントとしておりません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は266百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況については、連結範囲の変更に伴い、新たにコンテンツ事業における研究開発費を含めております。

(5) 従業員数

連結会社の状況

当第1四半期連結累計期間において、連結範囲の変更に伴いコンテンツ事業における株式会社レッド・エンタテインメント及び株式会社インターグローの従業員が52名（臨時従業員の人数を除く）増加しております。

提出会社の状況

当第1四半期連結累計期間において、従業員の著しい増減はありません。

(6) 生産、受注及び販売の実績

生産実績

当第1四半期連結累計期間において、機器事業におけるシステム機器の生産は増加したものの、遊技機（パチスロ機）等については、パチスロ機の販売を行っていないこと、また、遊技機機構ユニットの受注の減少に伴い生産が減少しております。

受注実績

当社グループでは機器事業におけるシステム機器製品については受注生産を行っており、当第1四半期連結累計期間において受注実績は増加しております。

販売実績

当第1四半期連結累計期間において、機器事業におけるシステム機器の販売は増加したものの、遊技機（パチスロ機）等については、パチスロ機の販売を行っていないこと、また、遊技機機構ユニットの受注の減少に伴い販売が減少しております。

(7) 主要な設備

当第1四半期連結累計期間において、主要な設備の前連結会計年度末における計画の著しい変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	90,000,000
計	90,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成27年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成27年8月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	22,500,000	22,500,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株でありま す。
計	22,500,000	22,500,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成27年6月30日		22,500,000		1,006,900		673,700

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成27年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成27年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 4,300		
完全議決権株式(その他)	普通株式 22,476,700	224,767	
単元未満株式	普通株式 19,000		一単元(100株)未満株式
発行済株式総数	22,500,000		
総株主の議決権		224,767	

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,500株(議決権15個)含まれております。また、「単元未満株式」欄の普通株式には、自己株式が21株含まれております。

【自己株式等】

平成27年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義所 有株式数 (株)	所有株式 数の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社オーイズミ	神奈川県厚木市 中町2-7-10	4,300		4,300	0.0
計		4,300		4,300	0.0

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成27年4月1日から平成27年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,382,467	7,142,359
受取手形及び売掛金	5,073,988	4,137,735
商品及び製品	993,871	1,048,941
仕掛品	573,915	1,332,758
原材料	1,320,419	1,397,136
コンテンツ	-	47,662
繰延税金資産	203,953	187,569
その他	1,278,250	1,262,803
貸倒引当金	13,059	3,414
流動資産合計	15,813,808	16,553,552
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,700,608	3,619,395
土地	7,742,506	7,710,959
その他（純額）	3,232,513	3,203,592
有形固定資産合計	14,675,628	14,533,947
無形固定資産		
ソフトウェア	32,545	67,430
のれん	266,385	370,347
その他	12,695	18,730
無形固定資産合計	311,626	456,507
投資その他の資産		
投資有価証券	794,982	590,265
長期貸付金	1 509,166	1 526,666
繰延税金資産	1,723	3,238
その他	823,425	833,903
貸倒引当金	1 262,900	1 272,879
投資その他の資産合計	1,866,398	1,681,194
固定資産合計	16,853,652	16,671,650
資産合計	32,667,461	33,225,202

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,659,939	3,703,830
短期借入金	2,296,000	1,172,450
1年内返済予定の長期借入金	1,499,071	1,753,955
未払法人税等	326,355	70,480
賞与引当金	57,508	102,168
製品保証引当金	18,000	16,000
返品調整引当金	-	1,609
受注損失引当金	-	491
その他	554,538	688,360
流動負債合計	8,411,413	7,509,346
固定負債		
長期借入金	8,105,510	9,237,048
繰延税金負債	38,420	36,312
役員退職慰労引当金	467,547	469,869
退職給付に係る負債	48,813	50,505
資産除去債務	63,543	68,813
その他	1,220,106	1,377,768
固定負債合計	9,943,941	11,240,317
負債合計	18,355,355	18,749,664
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,900	1,006,900
資本剰余金	673,700	673,700
利益剰余金	12,567,295	12,736,466
自己株式	4,091	4,137
株主資本合計	14,243,804	14,412,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68,302	62,610
その他の包括利益累計額合計	68,302	62,610
純資産合計	14,312,106	14,475,538
負債純資産合計	32,667,461	33,225,202

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	2,687,303	3,451,909
売上原価	2,100,063	2,692,797
返品調整引当金繰入額	-	1,609
売上総利益	587,240	757,502
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	29,761	71,084
販売促進費	2,384	4
役員報酬	47,781	57,860
給料手当及び賞与	50,685	72,246
賞与引当金繰入額	13,148	17,110
退職給付費用	9,067	6,434
役員退職慰労引当金繰入額	2,321	2,321
その他	189,095	254,325
販売費及び一般管理費合計	344,245	481,388
営業利益	242,994	276,114
営業外収益		
受取利息	717	114
受取配当金	10,441	5,420
その他	14,722	12,186
営業外収益合計	25,881	17,720
営業外費用		
支払利息	8,571	27,522
貸倒引当金繰入額	-	10,000
その他	1,902	9,984
営業外費用合計	10,474	47,506
経常利益	258,401	246,327
特別利益		
投資有価証券売却益	23,719	-
特別利益合計	23,719	-
特別損失		
固定資産除売却損	-	15,488
特別損失合計	-	15,488
税金等調整前四半期純利益	282,121	230,839
法人税、住民税及び事業税	68,168	47,418
法人税等調整額	12,227	14,598
法人税等合計	80,395	62,016
四半期純利益	201,726	168,823
親会社株主に帰属する四半期純利益	201,726	168,823

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	201,726	168,823
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,511	5,691
その他の包括利益合計	1,511	5,691
四半期包括利益	200,214	163,131
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	200,214	163,131

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
(連結の範囲の重要な変更) 当第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度まで非連結子会社であった株式会社レッド・エンタテインメント及び株式会社インターグローは、重要性が増したことから連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 係争事件

当社は、医療法人社団永潤会(現医療法人社団やまゆり会)から取得した土地を差押えた貸金業者及びその債権の一部譲渡を受けた債権回収業者に対し、当該土地に対する強制執行の不許と当社への所有権移転登記の承諾を求める訴訟を提起しておりましたが、平成27年5月15日に、横浜地方裁判所より当社敗訴の第一審判決を受けました。

これにより、同医療法人社団へ土地購入代金等として支出していた510,000千円について、回収不能額を255,000千円と見積もり、貸倒引当金(繰入額は営業外費用)に計上しております。

なお、当社は平成27年5月29日に東京高等裁判所に控訴しております。

保証債務

関係会社における銀行借入金に対して次のとおり債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
妙高酒造株式会社	435,250 千円	425,200 千円
株式会社インターグロー	150,000 千円	千円
合 計	585,250 千円	425,200 千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
減価償却費	46,606 千円	128,061 千円
のれんの償却額	千円	14,081 千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	157,470	7	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機器事業	不動産事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	2,549,228	138,074	2,687,303		2,687,303
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高		7,350	7,350	7,350	
計	2,549,228	145,424	2,694,653	7,350	2,687,303
セグメント利益	286,672	88,572	375,244	132,250	242,994

(注)1 セグメント利益の調整額 132,250千円は、主に提出会社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機器事業	不動産事業	福祉介護事業	電気事業	コンテンツ事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	2,844,710	143,622	189,467	57,790	216,318	3,451,909		3,451,909
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	12,340	7,350			83,333	103,023	103,023	
計	2,857,050	150,972	189,467	57,790	299,651	3,554,932	103,023	3,451,909
セグメント利益又は損失()	321,013	80,116	37,509	18,855	37,694	420,170	144,056	276,114

(注)1 セグメント利益の調整額 144,056千円は、主に提出会社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度において非連結子会社でありました、株式会社レッド・エンタテインメントを重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

なお、当第1四半期連結累計期間における当該事象によるのれんの増加額は、「コンテンツ事業」において113,827千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前連結会計年度において非連結子会社でありました、株式会社レッド・エンタテインメント及び株式会社インターグローを重要性が増したため連結子会社としたことに伴い、同2社が運営する「コンテンツ事業」を新たに報告セグメントといたしました。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	8円97銭	7円50銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	201,726	168,823
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	201,726	168,823
普通株式の期中平均株式数(株)	22,495,779	22,495,649

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年 8月13日

株式会社オーイズミ
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 寺田 昭 仁 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 越智 一 成 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社オーイズミの平成27年4月1日から平成28年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成27年4月1日から平成27年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社オーイズミ及び連結子会社の平成27年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。